



株式会社ファンコミュニケーションズ

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
剰余金の配当の基準日	1. 期末配当 12月31日 2. 中間配当 中間配当を実施するときは6月30日
単元株式数	1株
基準日	1. 定時株主総会については12月31日 2. その他必要がある場合は、あらかじめ 公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
インターネット ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	JASDAQ証券取引所

■ 公告方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL (<http://www.fancs.com/>)

本報告書に関するお問合せ先

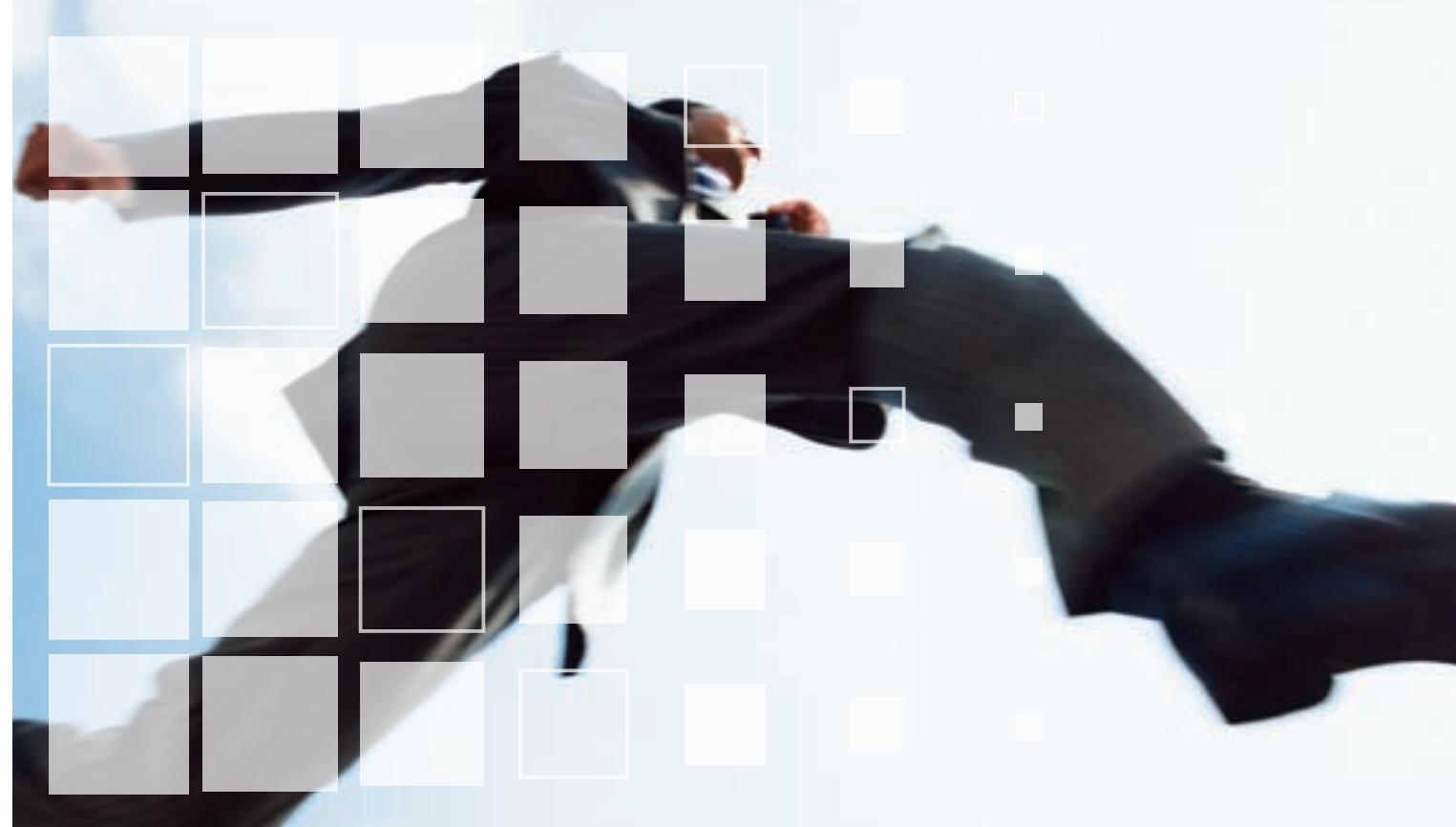
株式会社ファンコミュニケーションズ 社長室 IR担当
TEL : 03-5766-3792 FAX : 03-5766-3782

当社ホームページもご覧下さい



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

<http://www.fancs.com/>



A F F I L I A T E M A R K E T I N G C O M P A N Y

F@N
COMMUNICATIONS

第9期 報告書
2007.1.1 ▶ 2007.12.31

第9期（2007年12月期）決算ハイライト

《当期のポイント》

提携サイト拡大！
「A8.net」50万サイト、「Moba8.net」3万サイトを突破。

モバイル関連の売上比率が上昇

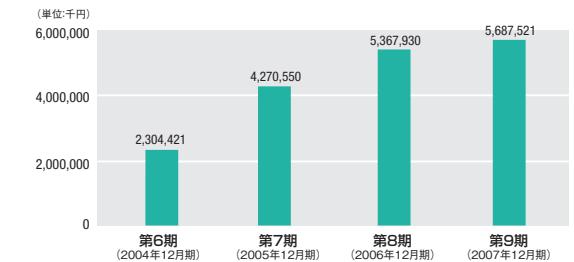
モバイル検索サイト「aqubee!」の開設、
「A8.net」「Moba8.net」のAPI公開など
新施策を積極展開。

1株当たり1,200円の期末配当を実施。

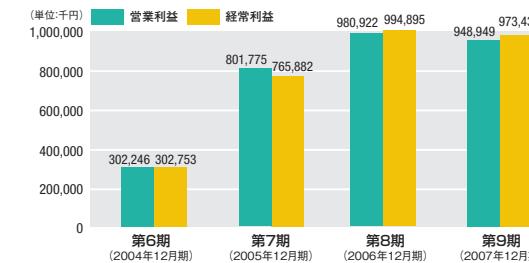
財務ハイライト

売上高 56億87百万円
経常利益 9億73百万円
当期純利益 4億85百万円

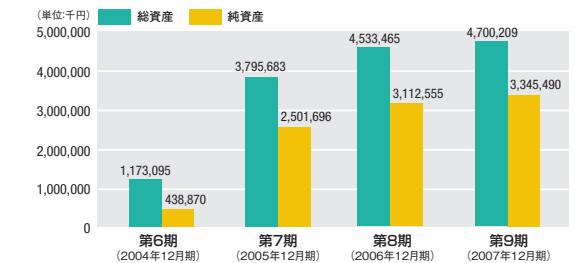
売上高



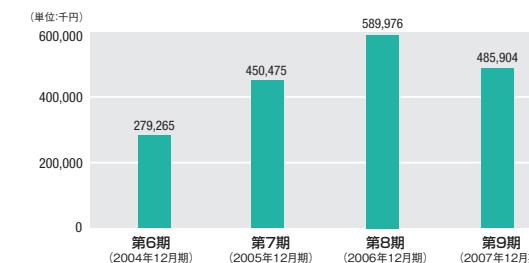
営業利益／経常利益



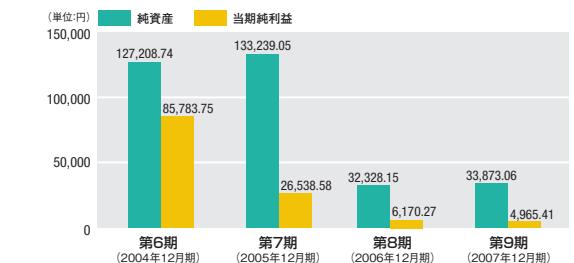
総資産／純資産



当期純利益



1株当たりデータ(純資産／当期純利益)



(注) 当社は、2005年3月9日付をもって株式1株につき4株、2006年3月1日付をもって株式1株につき5株の分割を行っております。

※当社には連結対象子会社がないため、単体決算を記載しています。

アフィリエイトマーケティングをコンセプトに顧客ならびに販売パートナーの皆様に価値を提供し、自らの成長拡大を目指します。



代表取締役社長

柳澤 安慶

Q1

当期（2007年12月期）の営業における大きな動きについてお聞かせください。

当期については、まず「モバイル分野へのシフトが明確になった期」として捉えています。営業展開におけるリソースを積極的にモバイル分野に割いた結果、モバイル関連売上（アフィリエイト広告サービスにおける「Moba8.net」とモバイル向け自社媒体の合計）の割合は、前期の約3%から11%強にまで拡大しました。

一方、パソコン向けアフィリエイト広告サービスである「A8.net」のトラフィック量がパソコンユーザーの利用動向における変化から鈍化傾向を示し、成果報酬が伸び悩みました。これは、若年層を中心にコミュニケーションツールの利用がパソコンからモバイルに移り変わってきていること、パソコンにおいても検索エンジンの使い方や動画視聴など利用シーンの新たな変化が生じていることが要因だと思われまます。

そのため当社では、「A8.net」における前期までの量的拡大指向を見直し、登録アフィリエイトサイトと利用広告主の双方に対するサービスの質的向上を強化する体制で臨みました。

Q2

各サービスにおける具体的な取り組みと当期の業績についてご説明願います。

「A8.net」については、引き続き規模の拡大を目指しつつも、前述したサービスの質的向上に向けて、営業方針の転換やシステムの機能強化を行いました。その一方で、量的拡大指向の見直しから稼働広告主数については減少を余儀なくされました。

「Moba8.net」については、サービス開始から2年目であり、規模の拡大を最優先し、機能追加を行ってまいりました。

自社媒体では、現在モバイルの媒体開発・運用にフォーカスしています。当期から新たに投入したソーシャルブック型検索サービス「aquabee!」をコアに置くことで、ユーザーの増加によるトラフィック量の積み上げを図っており、当期は赤字にとどまりましたが、2008年度中の黒字化を目指しています。

以上の状況および取り組みの結果、当期の業績は、売上高56億8千7百万円（前期比6.0%増）、営業利益9億4千8百万円（同3.3%減）、経常利益9億7千3百万円（同2.2%減）となり、当期純利益は投資有価証券の評価損（1.09億円）等を特別損失に計上したことから4億8千5百万円（同17.6%減）となりました。

Q3

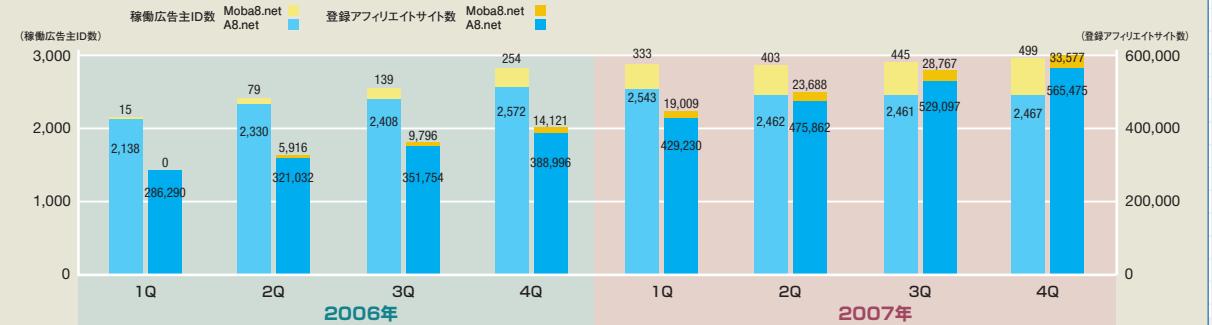
ファンコミュニケーションズが持っている強みと成長戦略についてご説明願います。

広告主とアフィリエイトサイトの「出会いの場」として、業界最大規模のサービスを創出する「A8.net」を運営していることこそが強みであると考えています。合理的な方法で、売上の拡大や新規顧客獲得を図りたい広告主と、それをサポートすることで収入を得たいアフィリエイトサイトの双方を、お互いに「Win-Win」の関係で結び、さらに最終消費者にも「Win」をもたらすことによって、当社も収益を確保できるという構造を確立している点は、他に類のない優位性であると思います。そして「Win-Win」の関係の総和が価値を生み出すという事業モデルの成立が、結果的に高い利益率につながっています。

成長戦略としては、稼働広告主数と登録アフィリエイトサイト数をさらに増やしていくことが重要です。また、数が増えるだけでなく、広告主とアフィリエイトサイトが最適に会える場を提供する必要があります。そのため当社ではより一層のサービス改善をしていく必要があると考えています。

当期末現在で、「A8.net」と「Moba8.net」を合わせた稼働広告主数は3,000社弱、登録アフィリエイトサイト数は60万サイト弱となっています。中期的な目標としては、稼働広告主数は10,000社、登録アフィリエイトサイト数は100万サイトの達成を目指しています。

稼働広告主ID数と登録アフィリエイトサイト数の推移



Q4

今期（2008年12月期）の業績見通しと事業展開におけるポイントをお聞かせください。

今期も引き続き、「A8.net」における次の成長のための準備期間と位置づけ、事業内容を見直していきたいと思えます。具体的にサービスの質的向上の効果が数字に表れてくるのは下期以降となる見込みです。そのため今期の業績見込みについては、売上高59億円（当期比3.7%増）、営業利益9億円（同5.2%減）、経常利益9億1千万円（同6.5%減）、当期純利益5億2千万円（同7.0%増）と、売上は微増、利益は踊り場状態での推移を予想しています。

事業展開におけるポイントとしては、第一にアフィリエイト事業にリソースを集中していきます。広告主とアフィリエイトサイトを結びつけるマーケットプレイス型モデルや消費者が作ったブログなどのコンテンツを活用したプロモーションのメリットを再確認し、その強みを最大に引き出すことで、他のインターネット広告会社との差別化を図ります。また、パソコンからモバイルへの事業領域のシフトをさらに加速し、「Moba8.net」と自社モバイル媒体事業で売上全体の20%超を目指します。前述の通り、自社媒体事業については2008年度中の黒字転換が目標です。

Q5

今後の事業展開の中で、どのようなリスクとチャンスが見込まれるでしょうか？

今期、あるいは近い将来を考えると、技術革新など変化の激しいインターネット関連業界では、パソコンユーザーの利用動向の変化によるリスクがまず挙げられます。モバイル分野では、若年層に対する「フィルタリング（有害サイトアクセス制限）」の普及促進が進むことで、アフィリエイト広告サービスおよび自社媒体へのアクセスが影響を受けるリスクが発生します。また、前期より消費者金融系広告の出稿抑制があったように、消費者保護動向による広告市場の混乱もリスクとして想定しています。さらに全般的な状況で言えば、今後の国内景気が予想以上に後退した場合についてもリスクとして認識する必要があります。

しかしながら、これらのリスクについては、裏を返せばビジネスチャンスを生み出すきっかけであるとも言えます。パソコンユーザーの利用動向の変化は、端末やインフラなどの形を変えて新たなサービス提供の機会を生み出しますし、フィルタリングや消費者保護動向などの規制の存在も、競争環境の変化と捉えれば、当社に有利な展開も考えられます。また、景気の後退局面では、むしろ成果報酬型広告が持つコストパフォーマンスの高さが注目される傾向があるので、そこを利用して攻めに転じることができると思えます。

Q6

株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期（2007年12月期）の配当については、前期と同様に1株当たり1,200円の期末配当を実施させていただきました。当社は、安定的な付加価値を創出する事業モデルの構築に成功したと考えておりますので、今後も配当性向2割を一つの目安として、継続的な株主配当により利益を還元させていただきたいと存じます。また、合わせて機動的な資本政策の一環として、余剰資金が発生した場合には、自社株買いの実施も考えています。

株主の皆様に対し、ご注目いただきたいポイントを申し上げますと、まず一つには、当社が成果報酬型のビジネスを展開している点です。成果報酬型広告は合理的でコストパフォーマンスも優れているため、広告主の方々の支持は大きく、その価値は今後も継続的に拡大していこうということです。

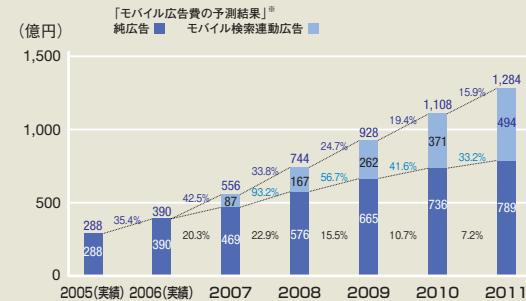
もう一つには、現在インターネットの世界を中心に、消費者が発信するコンテンツや情報、別の消費者が活用していく流れが拡大し、マスメディアによるコンテンツ・情報発信を凌駕しつつあります。株主の皆様には、当社がその大きな潮流にコミットした事業を展開していることにご注目いただきたいと存じます。事業展開の中では、先に挙げましたリスクに見られるような、一時的な動向の影響を受けることはあっても、この大きな潮流は止めようがなく、当社はその中で最大の付加価値を創出している企業として、今後さらに企業価値を増大させていけるものと考えています。

株主の皆様におかれましては、当社のこうした成長性・発展性に大きなご期待を寄せていただくとともに、長期的なご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Moba8.net 売上高の推移



モバイル広告市場は急成長分野



※出展：株式会社電通総研が2007年4月16日に発表したインターネット広告費の試算結果より。



財務諸表

損益計算書

(単位:千円)

科目	第8期 2006年1月1日から 2006年12月31日まで	第9期 2007年1月1日から 2007年12月31日まで
売上高	5,367,930	5,687,521
売上原価	3,283,190	3,353,780
売上総利益	2,084,740	2,333,740
販売費及び一般管理費	1,103,817	1,384,791
営業利益	980,922	948,949
営業外収益	22,743	26,381
営業外費用	8,770	1,895
経常利益	994,895	973,435
特別損失	5,292	132,713
税引前当期純利益	989,603	840,722
法人税、住民税及び事業税	397,251	396,458
法人税等調整額	2,375	△ 46,725
過年度法人税等	—	5,084
当期純利益	589,976	485,904

売上高

パソコン向けアフィリエイト広告サービスが対前期比マイナスとなりましたが、携帯向けアフィリエイト広告サービスの売上が伸び、総売上高は5,687,521千円（前期比6.0%増）となりました。

営業利益

事業規模拡大に伴う人員増および販売促進活動の強化により販売費及び一般管理費が25.5%増加し、売上高営業利益率は16.7%、当期営業利益は948,949千円（前期比3.3%減）となりました。

経常利益

営業利益率が前期と比べ1.6ポイント減少しましたが、有価証券利息17,000千円、投資有価証券売却益4,591千円を計上したことにより、973,435千円（前期比2.2%減）となりました。売上高経常利益率は1.4ポイント減少し、17.1%となりました。

当期純利益

税引前当期純利益は、出資先企業の投資有価証券について減損処理を実施した結果、840,722千円（前期比15.0%減）となりました。また、当期純利益は485,904千円（前期比17.6%減）となりました。1株あたりの当期純利益は、前事業年度の6,170円27銭から当事業年度は4,965円41銭となりました。

配当について

当社は株主に対する利益還元を重要課題の一つとして認識しております。主力事業であるアフィリエイト広告サービスが順調に拡大し、収益基盤も整備されつつあると判断し、純利益の20%程度を中期的な目標配当性向として、年1回の期末配当を行うことを基本方針として定めております。2007年12月期の期末配当につきましては、上記方針に基づき、1株あたり1,200円となりました。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	第8期 2006年12月31日現在	第9期 2007年12月31日現在
資産の部		
流動資産	3,709,655	3,837,846
固定資産	823,810	862,362
資産合計	4,533,465	4,700,209
負債の部		
流動負債	1,385,594	1,281,150
固定負債	35,316	73,568
負債合計	1,420,910	1,354,718
純資産の部		
株主資本	3,113,535	3,340,729
評価・換算差額等	△ 980	△ 2,708
新株予約権	—	7,470
純資産合計	3,112,555	3,345,490
負債純資産合計	4,533,465	4,700,209

流動資産

当事業年度末における流動資産の残高は、3,837,846千円（前事業年度末は3,709,655千円）となり、128,191千円の増加となりました。増加の主な要因は、売掛金が535,477千円（前事業年度末は575,923千円）と40,446千円減少しましたが、有価証券が1,787,051千円（前事業年度末は有価証券875,466千円、抵当証券700,000千円）と211,585千円増加したことによるものです。

固定資産

当期末の固定資産残高は、862,362千円（前期末は823,810千円）となり、38,552千円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券が85,232千円減少しましたが、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が96,105千円増加したこと、繰延税金資産が45,882千円増加したことによるものであります。投資有価証券の減少は満期日が1年以内の公社債等を有価証券に振替えた為であり、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の増加はブログサービスシステム購入及び自社サービス開発の増加によるものであります。また、繰延税金資産の増加は当社出資先企業の投資有価証券評価損の計上によるものであります。

流動負債

当期末の流動負債残高は、前期比104,443千円減少し、1,281,150千円となりました。主な要因は、未払法人税等が36,372千円減少したこと、前受金が64,277千円減少したことによるものであります。前受金の減少は、料金体系の変更による基本料金前受額の減少によるものであります。

固定負債

当期末の固定負債残高は、前期比38,252千円増加し、73,568千円となりました。主な要因は預り保証金が38,252千円増加したことによります。預り保証金の増加は、一部広告主の保証金取扱高の増額によるものです。

純資産

当期末の純資産残高は、前期比232,935千円増加し、3,345,490千円となりました。主な要因は、自己株式の取得により180,874千円減少しましたが、平成19年4月10日にストック・オプションの行使をしたことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ18,850千円の増加及び当期純利益485,904千円の計上によるものであります。

※当社には連結対象子会社がないため、単体決算を記載しています。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	第8期 2006年1月1日から 2006年12月31日まで	第9期 2007年1月1日から 2007年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	618,660	608,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,049,222	△ 422,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,863	△ 270,872
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,405,698	△ 84,620
現金及び現金同等物の期首残高	2,995,255	1,589,557
現金及び現金同等物の期末残高	1,589,557	1,504,936

主要サービス内容紹介

●アフィリエイト広告サービス

A8.net



当社はインターネット上でマーケティング活動を行う企業に対して、PC向けアフィリエイト広告サービス「A8.net」およびモバイル向け同サービス「Moba8.net」を提供しております。このアフィリエイト広告は「成果報酬型広告」とも呼ばれ、広告主のWebサイトにおいて何らかの成果（購買、資料請求、会員登録など）が発生した場合に、送客元であるアフィリエイトサイト（広告主へのリンクを掲載するサイト）

Moba8.net



に対して成果に応じた報酬を支払う広告形態です。広告主にとっては広告目的が達成された場合に成果報酬を支払えばよいので費用対効果が高いこと、アフィリエイトサイトにとっても媒体のスペースを生かした収益獲得が可能となるため、インターネット広告業界において浸透しつつある新しい広告手法です。



●自社媒体運営

当社は会員制のサイトを中心に、情報サービスなどを提供するサイトを開発、運営しています。会員制の情報サイトでは、当社が会員を募集するとともに、コンテンツの作成や会員向けサービスを行い、各サイトの広告媒体としての価値を創出し、広告主に広告スペースの販売を行います。また、アフィリエイト広告サービスのパートナーサイトとしても収益化を図っています。SampleFan.com（サンプル情報サイト）、aqubee!（モバイル向け検索・ブックマーク共有サイト）、歌ネットモバイル（モバイル向け歌詞検索サイト）などをはじめ、さまざまなサイトを運営しています。



会社情報

会社概要

(2007年12月31日現在)

商号	株式会社ファンコミュニケーションズ
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル8階
設立	1999年10月1日
資本金	9億1,415万円
従業員数	112名 (パートタイマー除く)
会計監査人	あずさ監査法人

役員

(2008年3月28日現在)

代表取締役社長	柳澤 安慶 (やなぎさわ やすよし)
取締役副社長	松本 洋志 (まつもと ひろし)
取締役	内田 徹 (うちだ とおる)
取締役	佐藤 吉勝 (さとう よしかつ)
取締役	広瀬 計 (ひろせ けい)
取締役	堂下 裕章 (どうした ひろあき)
常勤監査役	柳澤 信美 (やなぎさわ のぶよし)
監査役	柿本 謙二 (かきもと けんじ)
監査役	出澤 秀二 (いでさわ しゅうじ)

当期の主な取り組み

2007	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	「Moba8.net」の管理画面に携帯電話からアクセス可能に「A8.net」の提携サイト数が40万サイトを突破	第8期決算発表	A8.netの商品DBサービスのDB件数が100万点に拡大 ブログASP「ファンブログ」のサービスを開始 「サンプルファン モバイル」のサービスを開始	「Moba8.net」の提携サイト数が2万サイトを突破 株式会社ECホールディングスへ出資 成果報酬型でのEC事業支援サービスを開始	モバイル向け検索サービス「aqubee!」、 モバイル向け情報比較サイト「SEEKEN MOBILE」、 ランキングポータル「FRANKUNIT」のサービスを開始	モバイル向け情報サイト「ペロフリー」のサービスを開始 アフィリエイト関連で3つ目のビジネスモデル特許を取得 A8.net広告主向け新サービス「ABLPO」を開始	「A8.net」の管理画面に携帯電話からアクセス可能に 「A8.net」の提携サイト数が、50万サイトを突破	モバイル向け歌詞検索サイト「歌ネットモバイル」のサービスを開始 「Moba8.net」の提携サイト数が3万サイトを突破	「A8.net」「Moba8.net」成果報酬確定に関するAPIを公開			

株式情報 (2007年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000株
発行済み株式総数	99,345株
株主数	5,636名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
柳澤 安慶	29,740	29.94
楽天(株)	5,779	5.82
アール・シー・ワイ・ブラザーズ(株)	5,346	5.38
(株)インプレスホールディングス	3,913	3.94
松本 洋志	3,189	3.21
日本証券金融(株)	3,168	3.19
張 力牧	3,162	3.18
小林 直行	2,410	2.43
内田 徹	2,389	2.40
杉山 紳一郎	1,720	1.73

※議決権比率は小数点第3位を四捨五入

株式の分布

